

アジアカデットレスリング選手権

男子フリースタイル46kg級で銅メダルを獲得した八学光星高の荒道豊樹

27日、八戸市内



荒道(光星) 3位入賞

20〜23日にタイ・バンコクで行われた第17回アジアカデットレスリング選手権で、八学光星高1年の荒道豊樹がフリースタイル46kg級で初出場し、3位入賞を果たした。26日、八戸市のデーリー東北新聞社を訪れ、「メダルを取れてうれ

しい」と初の世界舞台で結果を残した喜びを語った。

大会にはアジアの約20カ国から16、17歳の選手が参加。荒道は4月のJOCジュニアオリンピックカップで準優勝し、出場権を得た。初めての海外遠征で慣れない食事や環境に戸惑いながらも、各国の代表が集まる大舞台に「挑戦者だから楽しもう」と臨んだという。

1回戦で逆転負けを喫したが、敗者復活戦を勝ち上がり、3位決定戦で30秒でフォール勝ちを収めた。

本社訪問で、荒道は銅メダルを手に笑顔を見せたが、「腰が引けて守りに入ってしまった」と振り返り、1回戦の敗北が心残りの様子。「優勢な試合でも攻めなければ金メダルはない」と表情を引き締めた。

8月に全国高校生グレコローマン選手権が控えてお

り、「次は金メダルを取る」とさらなる飛躍を誓った。

(中山瑞希)